

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	績	開館日数 (第1・第2老人福祉センター)	日	目標	—	—	—
実績				304	305	304	
業	開所日数 (岩崎・ふれあいデイサービス)	日	目標	—	—	—	—
			実績	292	294	308	
業	利用人数 (老人福祉センター)	人	目標	—	—	—	—
			実績	132,404	152,905	174,932	
業	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	事故件数 (老人福祉センター)	人	目標	0	0	0	0
実績			1	0	0		
業	事故件数 (岩崎・ふれあいデイサービス)	人	目標	0	0	0	0
			実績	0	0	0	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	老人福祉センターの利用人数は、年々増加している。老人福祉センター及びデイサービスセンターが各指定管理者により事故なく、適正に管理運営された。				
	事業実施における課題	老人福祉センターの利用者が多く、2施設において機器不足及び待ち人数が多数ある。					
	事業を縮小・廃止したときの影響	老人福祉センター及びデイサービスセンターが閉鎖され、同施設の利用ができなくなり、高齢者の余暇や生きがい活動の場及び利用者が馴染みのある場がなくなることになる。					
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	デイサービスセンターについて、必要とする方に利用していただけるよう社会福祉協議会と協議を行い、年末年始等の開設日の拡大を図る。また指定管理者の選定の年でもあり、より利用者に喜ばれるようなサービス提供を行えるようにしていく。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援する必要がある。また、将来的には高齢化率の伸びを考え、新たな老人福祉センターが必要と考える。					
	26年度以降の改善案	デイサービス職員が研修へ参加することにより、介護に対する知識の習得や技術の向上を行う。					

二次評価	方向性の判定	判定理由					
	維持	一次評価のとおり。引き続き指定管理者のモニタリングに努め、利用者アンケート結果を活かすなど利用者の満足度が高まる施設運営に努めること。					